



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月5日

上場会社名 株式会社エムケイシステム

上場取引所 東

コード番号 3910 URL <https://www.mks.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三宅 登

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 吉田 昌基

TEL 06-7222-3394

四半期報告書提出予定日 2020年11月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信を予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,128	4.7	75	52.6	83	47.8	40	59.6
2020年3月期第2四半期	1,183	25.0	160	103.5	159	106.2	101	

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 38百万円 (60.4%) 2020年3月期第2四半期 97百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	7.55	
2020年3月期第2四半期	18.70	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,214	1,299	57.3
2020年3月期	2,234	1,304	56.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,267百万円 2020年3月期 1,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		8.00	8.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)			0.00	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,749	15.5	324	3.2	322	3.1	201	2.1	37.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	5,428,000 株	2020年3月期	5,428,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	506 株	2020年3月期	474 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	5,427,516 株	2020年3月期2Q	5,427,642 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(追加情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け依然として厳しい状況にあります。5月の緊急事態宣言解除後に緩やかに経済活動が再開され、景気指標に改善の傾向が出ているものの、新型コロナウイルス感染症の影響について終息の見通しは立っておらず、経済活動の抑制傾向は長期化することが懸念されています。

国内の情報サービス業界では、デジタル技術を活用してビジネスや生活を柔軟に変化させるDX(デジタルトランスフォーメーション)の取り組みが加速しているものの、直近においては景気悪化に伴う企業のIT投資の先送りや抑制など一部に慎重な動きがみられます。当社グループの関連する人事労務領域においても、政府が推進する働き方改革や新型コロナウイルス感染拡大に伴うテレワークへの急速な取り組みがあるものの、企業や自治体の投資計画の見直しや先送りが見られます。

このような状況の中、当社グループは、顧客の業務効率化並びに付加価値創造を支援し、顧客満足度をより一層高めるべく努めてまいりました。当社の主力製品である「社労夢(Shalom)シリーズ」は、社会保険、労働保険等に関する業務支援システムとして、既に2,500を超える社労士事務所に幅広く導入いただいております。また、一般法人企業向け製品である「CompanyEdition」シリーズ、年末調整支援ツールである「eNEN(旧:年末調整CuBeクラウド)」、2020年7月に新たにリリースした「Cloud Pocket」に関しても、マーケティング活動を強化し販売拡大を図りました。CuBe事業においては「GooooN」の機能強化を行い、販売ルートを拡大するためのマーケティング活動を強化する等、業容拡大を図りました。

当第2四半期連結累計期間におきまして、当社東京オフィスを移転いたしました。移転先の新しい事務所には、業務の緊密な連携と経営効率化を目指すことを目的に、当社東京オフィスの他、連結子会社および協業する法人等が同時に移転いたしました。これに係る協業する法人等からの受取賃貸料7,035千円を営業外収益として計上しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は売上高1,128,029千円(前年同四半期比4.7%減)、売上原価566,043千円(前年同四半期比3.1%減)、売上高に対する売上原価の比率50.2%(前年同四半期比0.8ポイント増加)、売上総利益561,985千円(前年同四半期比6.3%減)、営業利益75,944千円(前年同四半期比52.6%減)、売上高に対する営業利益の比率6.7%(前年同四半期比6.8ポイント減少)、経常利益83,291千円(前年同四半期比47.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益40,976千円(前年同四半期比59.6%減)となりました。また、当社グループが重要な経営指標と考える自己資本利益率(ROE)は、当社単体では5.4%(前年同四半期は10.8%)となりました。連結ベースでは3.2%(前年同四半期は8.9%)となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(社労夢事業)

社労夢事業においては、働き方改革やテレワーク推進のための業務効率化の必要性を背景に、主要顧客である社会保険労務士市場のみでなく、一般法人市場においてもシステム導入意欲が高まっております。一方で、競合による新規参入が散見され、価格面も含め競争の激化が予想されます。

当第2四半期連結累計期間においては、企業への営業自粛要請に伴う休業補償や雇用調整助成金などの活用について、社会保険労務士の先生方が対応に迫られる一方、一般法人市場においてもお客様の人事担当者、決裁権限者の繁忙による商談及び導入作業の遅れが発生しました。また、毎年出展し多くの企業の引き合いにつながっている人材関連ソリューションの専門イベント「Human Capital2020」が、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止になった他、当社主催のセミナーも会場開催の中止を余儀なくされるなど、対面営業に制限がかかる事となりました。

このような状況の中、社労夢製品のフォローアップ説明会や各種セミナーをオンラインで開催し、Webサイトを活用したプロモーション活動の強化などを進めました。また、昨年リリースした中小企業向け新製品「DirectHR」や株式会社ビジネスネットコーポレーションより事業譲受により引き継いだ「eNEN(旧:年末調整CuBeクラウド)」の機能強化を図りました。

この結果、クラウドサービス売上高は、871,436千円(前年同四半期比6.6%増)となりました。主力サービスである社労夢製品のユーザー数が増加したことに伴う月額利用料の積み上がりに加え、一般法人企業の利用数が増加したことにより、ASPサービス売上高が799,168千円(前年同四半期比12.9%増)となりました。一方で、営業活動が制限された影響を受け社労夢ハウプランの受注及び一般法人企業の新規導入が伸び悩んだことにより、システム構築サービス売上高は72,267千円(前年同四半期比34.0%減)となりました。システム商品販売売上高について

も、テレワーク移行の影響を受け46,233千円（前年同四半期比18.1%減）となりました。

また、前連結会計年度において連結子会社である株式会社ビジネスネットコーポレーションより行った、松山開発センターにおけるシステム開発事業の会社分割による承継、及び「eNEN（旧：年末調整CuBeクラウド）」の事業譲受などにより、労務費、ソフトウェア償却費などの売上原価が増加しました。

以上の結果、社労夢事業の売上高は934,770千円（前年同四半期比6.9%増）となり、売上総利益は503,733千円（前年同四半期比2.6%減）、営業利益は104,356千円（前年同四半期比46.9%減）となりました。当社グループで重要な経営指標としている売上高に対する営業利益の比率は11.2%（前年同四半期比11.3ポイント減少）となりました。

（CuBe事業）

CuBe事業では、大手企業の人事総務部門向けに業務プロセスの効率化を目的として個社毎にカスタマイズしたフロントシステムの受託開発と、大手企業向け受託開発を通じて蓄積したノウハウを活かし、中小企業での利便性を実現したクラウドサービスの提供を行っております。

前連結会計年度において、「年末調整CuBeクラウド（現：eNEN）」を株式会社ビジネスネットコーポレーションから親会社である株式会社エムケイシステムへ事業譲渡しました。

特にフロントシステムの受託開発において、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、お客様となる企業や自治体の担当者や決裁権限者の在宅勤務移行や繁忙により、商談及び導入作業の遅れが発生しました。一方、クラウドサービスにおいては、「GooooN」の販売ルートの開拓、機能強化などを進めました。

以上の結果、CuBe事業の売上高は215,788千円（前年同四半期比31.1%減）、売上総利益は57,894千円（前年同四半期比31.5%減）、営業損失は37,685千円（前年同四半期は35,908千円の営業損失）となりました。なお、CuBe事業の営業損失については、のれん償却額19,430千円を反映しております。

（2）財政状態に関する説明

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比較し137,283千円減少し、585,534千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は77,411千円（前年同四半期は345,758千円の獲得）となりました。主な増加要因は、減価償却費154,392千円、税金等調整前四半期純利益82,591千円、主な減少要因は、未払消費税等の減少91,025千円、法人税等の支払額71,987千円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は276,810千円（前年同四半期は78,643千円の使用）となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出181,068千円、無形固定資産の取得による支出95,786千円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により獲得した資金は62,115千円（前年同四半期は67,276千円の使用）となりました。主な増加要因は、長期借入れによる収入200,000千円、主な減少要因は長期借入金の返済による支出94,432千円、配当金の支払額43,420千円などによるものであります。

当社グループの運転資金需要のうち主なものは、売上原価や販売費及び一般管理費に計上される対価や納税資金等であります。設備投資資金には、サーバー増設等の大規模な設備投資があります。また、株主還元については、財務の健全性に留意しつつ、配当政策に基づき実施しております。

運転資金及び投資資金並びに株主還元等については、主として営業活動から得られるキャッシュ・フローを源泉とする内部資金及び金融機関からの借入を基本としております。

当社グループは、健全な財務体質、継続的な営業キャッシュ・フロー創出能力により、今後も事業成長を確保する目的で手元流動性を高める資金調達や、個別投資案件への資金調達は可能であると考えております。

なお、当第2四半期連結会計期間末における有利子負債の残高は612,807千円となっております。また、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は585,534千円となっております。

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、1,073,146千円（前期比10.3%減）となりました。主な内訳は、現金及び預金612,677千円、売掛金406,787千円となっております。

また、固定資産の残高は1,141,223千円（前期比9.9%増）となりました。主な内訳は、ソフトウェア428,600千円、のれん233,171千円、差入保証金180,855千円、建物141,152千円となっております。

以上の結果、総資産は2,214,369千円（前期比0.9%減）となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、545,039千円（前期比9.1%減）となりました。主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金233,304千円、未払金80,881千円、賞与引当金60,049千円となっております。

また、固定負債の残高は369,503千円（前期比11.8%増）となりました。内訳は、長期借入金369,503千円となっております。

以上の結果、負債合計は914,542千円（前期比1.7%減）となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における株主資本は、1,267,909千円（前期比0.2%減）となりました。主な内訳は、資本金219,110千円及び資本剰余金197,457千円、利益剰余金851,842千円となっております。

以上の結果、純資産は1,299,827千円（前期比0.4%減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月11日の「2020年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	749,960	612,677
売掛金	420,149	406,787
商品	5,904	7,207
仕掛品	1,451	15,042
貯蔵品	173	108
前払費用	17,623	27,940
未収消費税等	—	123
その他	1,004	3,258
流動資産合計	1,196,267	1,073,146
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	18,455	141,152
車両運搬具(純額)	2,608	2,173
工具、器具及び備品(純額)	41,623	86,490
有形固定資産合計	62,688	229,816
無形固定資産		
ソフトウェア	476,781	428,600
ソフトウェア仮勘定	29,507	33,918
商標権	1,535	1,432
電話加入権	1,218	1,218
のれん	252,602	233,171
無形固定資産合計	761,646	698,341
投資その他の資産		
出資金	70	60
差入保証金	180,890	180,855
繰延税金資産	33,078	32,051
その他	98	98
投資その他の資産合計	214,137	213,065
固定資産合計	1,038,471	1,141,223
資産合計	2,234,739	2,214,369

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,019	16,551
短期借入金	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	166,644	233,304
未払金	91,235	80,881
未払費用	32,347	37,982
未払法人税等	81,720	46,747
未払消費税等	94,545	3,644
前受金	33,341	48,240
賞与引当金	55,634	60,049
その他	7,099	7,638
流動負債合計	599,588	545,039
固定負債		
長期借入金	330,595	369,503
固定負債合計	330,595	369,503
負債合計	930,183	914,542
純資産の部		
株主資本		
資本金	219,110	219,110
資本剰余金	197,457	197,457
利益剰余金	854,151	851,842
自己株式	△466	△499
株主資本合計	1,270,251	1,267,909
非支配株主持分	34,303	31,917
純資産合計	1,304,555	1,299,827
負債純資産合計	2,234,739	2,214,369

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	1,183,640	1,128,029
売上原価	583,947	566,043
売上総利益	599,692	561,985
販売費及び一般管理費	439,433	486,041
営業利益	160,259	75,944
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	1	1
受取ロイヤリティー	—	300
受取賃貸料	—	7,035
助成金収入	—	1,056
保険解約返戻金	21	25
仕入割引	5	190
還付加算金	358	—
その他	49	69
営業外収益合計	439	8,681
営業外費用		
支払利息	1,267	1,333
その他	1	0
営業外費用合計	1,269	1,334
経常利益	159,429	83,291
特別損失		
有形固定資産除却損	—	700
特別損失合計	—	700
税金等調整前四半期純利益	159,429	82,591
法人税、住民税及び事業税	33,716	42,842
法人税等調整額	27,984	1,026
法人税等合計	61,700	43,868
四半期純利益	97,728	38,723
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,756	△2,253
親会社株主に帰属する四半期純利益	101,485	40,976

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	97,728	38,723
四半期包括利益	97,728	38,723
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101,485	40,976
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,756	△2,253

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	159,429	82,591
減価償却費	127,873	154,392
のれん償却額	19,430	19,430
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△10,367	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,278	4,415
受取利息及び受取配当金	△3	△4
支払利息	1,267	1,333
売上債権の増減額(△は増加)	△72,261	13,362
たな卸資産の増減額(△は増加)	32,986	△14,828
仕入債務の増減額(△は減少)	△277	△10,467
未払消費税等の増減額(△は減少)	84,739	△91,025
未払金の増減額(△は減少)	△20,764	△11,145
その他	18,930	2,674
小計	345,262	150,728
利息及び配当金の受取額	2	3
利息の支払額	△1,267	△1,333
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	1,762	△71,987
営業活動によるキャッシュ・フロー	345,758	77,411
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,838	△181,068
無形固定資産の取得による支出	△85,354	△95,786
出資金の回収による収入	—	10
敷金及び保証金の差入による支出	△1,431	—
敷金及び保証金の回収による収入	10,981	35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78,643	△276,810
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△10,000	—
長期借入れによる収入	100,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△102,906	△94,432
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△10,839	—
自己株式の取得による支出	△109	△32
配当金の支払額	△43,421	△43,420
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67,276	62,115
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	199,839	△137,283
現金及び現金同等物の期首残高	299,755	722,818
現金及び現金同等物の四半期末残高	499,595	585,534

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	874,318	309,322	1,183,640	—	1,183,640
セグメント間の内部売上高 又は振替高	276	3,852	4,128	△4,128	—
計	874,594	313,174	1,187,768	△4,128	1,183,640
セグメント利益又は損失 (△)	196,384	△35,908	160,476	△216	160,259

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	917,304	210,725	1,128,029	—	1,128,029
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,466	5,062	22,528	△22,528	—
計	934,770	215,788	1,150,558	△22,528	1,128,029
セグメント利益又は損失 (△)	104,356	△37,685	66,670	9,274	75,944

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大の影響について)

新型コロナウイルスが感染拡大した影響により経済の先行き不透明感が高まり、当社グループにおいても、商談の遅れ、会場でのセミナー開催の中止、などの影響が顕在化しております。しかし、当社グループの売上高は、主力製品である社労夢シリーズの月額ライセンス料収入を主としており、高い安定性を維持しているため、現時点で繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りに重要な影響を及ぼす事象は生じていないと判断しております。

なお、当該見積りは現時点で入手可能な情報等を踏まえたものであり不確実性は高く、新型コロナウイルスの収束時期やその他の状況の経過により影響が変化した場合には、上記の見積りの結果に影響し、翌期以降の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。